

## JABMEE CPD 評価基準（換算）表

- 1 所定の「書式1」および「書式2」の太枠の中にご記入ください。
- 2 「書式1」に種別番号ごとの合計時間、「書式2」にその詳細内容および各時間数をご記入ください。それぞれに「証明として必要とされるもの」を添付ください。
- 3 証明または必要とされるものは必ず添付ください。不足している場合は認定できないことがあります。当協会主催のものはバーコードシールのコピー（手帳をコピーしてください。）
- 4 申請期間は、CPD参加日より起算してください。
- 5 毎月発行の会誌や委員会などは、各号、各会毎に「書式2」へご記入ください。

申請いただくコンテンツは、必ず実施した 時間数 をご申告ください。

単位数は、JABMEE 判定基準に基づき、こちらで換算（時間 単位）します。

JABMEE CPD 評価基準(換算)表

型	種別番号	内容・評価単位数	1年間の 上限
参加型（1）	1-1	講習会、講演会、シンポジウムなど (単位) 1単位/時間	30 (総合講習 を除く)
	1-2	見学会、海外視察など (単位) 1単位/時間	
	1-3	企業内研修（当協会に企業内研修の申請のあったもののみ） (単位) 1単位/時間	
	1-4	建築設備士総合講習、その他 (単位) 総合講習 講義13単位、レポート7単位 その他 内容、時間等により個別に評価	
技術提供型（2）	2-1	講師、非常勤講師など (単位) 2単位/時間 論文発表 (単位) 2単位/時間	30
	2-2	執筆（協会誌、協会発行または編集の専門技術書など） (単位) 1～3単位/頁（内容により評価）	
	2-3	委員会活動など (単位) 1単位/回	
	2-4	社会活動、貢献 (単位) 6単位/日	
	2-5	その他 (単位) 内容、時間により個別に評価	
自己学習型（3）	3-1	協会誌「建築設備士」、他団体会誌 (単位) 1単位/号 技術書等 (単位) 2単位/レポート	25
	3-2	その他 (単位) 内容、時間により個別に評価	
実務型（4）	4-1	建築設備に関する日常の業務における実績。責任ある立場か、担当者 の立場かにより評価単位を認定 (単位) 10～15単位	15

注) CPDは5年間で250単位を取得することが必要です。  
ただし、各タイプごとに1年間の取得単位の上限が決められていますので、バランス良く実施していくことが大切です。